



教育課程 (週時間数)

学年	各教科										道徳	特別活動	総合的な学習の時間	特別活動	計		
	国語	社会	算数	理科	生活	音楽	図画工作	家庭	体育	徳							
1	9		4		3	2	2		3	1	1				1	26	
2	9		5		3	2	2		3	1	1				1	27	
3	7	2	5	2.6		1.7	1.7		3	1	1	1	2		1	29	
4	7	2.6	5	3		1.7	1.7		3	1	1	1	2	0.3	0.3	0.4	30
5	5	2.9	5	3		1.4	1.4	1.7	2.6	1	1	2	2	0.3	0.3	0.4	30
6	5	3	5	3		1.4	1.4	1.6	2.6	1	1	2	2	0.3	0.3	0.4	30

校時表

時分	校時	月	火	水	木	金	備考:通年実施
8:20	朝会 (児童・道徳・発表・音楽・保健)・朝の会						基礎学習タイム
8:40	朝読書 (読書・ペア読・読みポラ…火・水・金)						13:45~14:00
8:40	1 (45)						水曜日
9:35	2 (45)						5校時 13:25~14:10
10:20	3 (45)						職員会、校内研 14:40~
10:35	4 (45)						木曜日
11:20	給食						フッ素洗口 13:25~13:30
11:30	5 (45)			13:25	13:45		基礎学 13:30~13:45
12:15	6 (45)			14:10	14:30		5校時 13:45~14:30
12:50	7 (45)				14:40		6校時 14:40~15:25
14:00					15:35		7校時 15:35~16:20
14:45					15:25		
14:55					16:20		
15:40							

学校経営方針及び教育目標

<学校経営方針>

- ・組織として協働し、お互いに高め合う学校
- ・道徳教育・人権教育の実践研究に努め、お互いに認め合い尊重し合う学校
- ・ふるさと教育を推進し、地域と一体感のある学校
- ・個に寄り添い、一人ひとりが大切にされる学校

<学校教育目標>

『主体的に学び、心豊かでたくましく、ともに高め合う児童の育成』

～笑顔いっぱいあいさついっぱい元気いっぱいひがなかな～

・めざす児童像

- ①すすんで学ぶ子
- ②自然と共に生きる子
- ③心豊かな子

・めざす教師像

『明日が待たれる学校づくり』～皆の笑顔のために～

- ①子どもたちにとって、その個性を思う存分に発揮でき、学ぶことが楽しい『この学校に来て良かった』と心の底から思える学校
- ②保護者や地域の方々からは、『この学校にやっとな良かった』と信頼される学校
- ③教職員にとっては、『この学校に勤めて良かった』とやり甲斐や誇りをもてる職場

・めざす教師像

- ①子どもを良く知り尊重して、子どもとともに伸びる教師
- ②子どもと心がふれあい、愛と厳しさを持って指導する教師
- ③心と力を合わせ、信頼される学校づくりに協働する教師
- ④謙虚に学ぶ態度をもち、専門職としての資質、指導力の向上に努める教師

本年度の教育重点目標

- ①豊かな人間性と実践力を身につけた子どもを育てるための教育課程を編成し、組織として取り組み、活力のある学校を目指す。
- ②「よく学び、よく考え、よく遊ぶ子」を育てるために、教職員の資質の向上と連携を図り、日々の授業の質を高める。
- ③児童数の急激な現象による複式学級の編成に対応し、学習リーダーを活用した主体的な学習を通して、児童がお互いに学び合う授業を追究していく。
- ④特別支援教育の視点に立った取組を進めるとともに、地域や関係機関との連携を図りきめ細かな児童支援、家庭支援を行う。
- ⑤本校のよき伝統と先人の業績を継承するとともに、家庭や地域、関係機関との連携を図り、故郷に誇りをもつ児童を育てる。
- ⑥命を大切にし、よりよく生きようとする健やかな体と心を育てる。
- ⑦幼小中との更なる連携を図り、9年間を見据えた教育活動を進める。

<研究主題>

「伝え合い、認め合い、ともに高め合う児童の育成」

～自分の考えを持ち、とも学びの充実を図る(算数科を通して)～

沿革の概要

創立	校名	東中筋尋常高等小学校
	年月日	昭和13年8月1日
	所在地	東中筋村国見北ナンゴウ 460

(楠島小学校) (江ノ村小学校)

明治7～10年頃 寺子屋で教育
明治5年 長方寺で教育
楠島オサキ 1150 寺 跡で教育
明治8年 江ノ村小学校 設立

明治29年 楠島字木の下 974 に移転
大正5年 火災により全焼
大正7年 校舎新築
昭和10年 校舎床上浸水
昭和13年 校舎新築

楠島小学校と江ノ村小学校が合併し高等科を設置して「東中筋尋常高等小学校」となる

16年 「東中筋村立東中筋国民学校」と改称
22年 学制改革により「東中筋小学校」を改称
29年 市制施行により「中村市立東中筋小学校」と改称
38年 校歌・校旗の制定
42年 体育館落成
47年 プール落成
50年 土俵落成
59年 プレハブ音楽教室改築

平成元年 校舎改築落成 (鉄筋2階、6学級)
2年 県立図書館親子読書推進指定校
9年 体育館通路落成
13年 特別支援学級設置 県社会福祉教育推進校
14年 プール落成
15年 西部教育事務所学力向上 (国際理解教育) 研究推進指定校
17年 文部科学省「伝え合う力を養う調査研究事業」指定校となる (2年間)
18年 文部科学省「伝え合う力を養う調査研究事業」研究発表会開催
24年 普通学級6、特別支援学級1
25年 普通学級6、特別支援学級1
26年 普通学級6、特別支援学級1
四万十市研究指定事業「NIE」の推進 (～28年)
27年 普通学級6、特別支援学級1
体育館改築落成
28年 普通学級6、特別支援学級1
「学校支援地域本部事業」推進校
29年 普通学級6、特別支援学級1
四万十市研究指定事業「ふるさと教育」の推進
30年 普通学級6、特別支援学級2
道徳教育推進拠点校事業 県指定(～32年)

令和2年 メンター方式を活用した研修推進校 普通学級6 特別支援学級3
道徳教育推進拠点校事業3年次発表 (第40回幡多地区道徳教育研究大会を兼ねる)

令和3年 普通学級4複式学級1、特別支援学級2
令和4年 普通学級4複式学級1、特別支援学級2
令和5年 普通学級2複式学級2、特別支援学級2

令和5年度 学校要覧

四万十市立東中筋小学校長 門田典弘